

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4072700372		
法人名	社会福祉法人豊光福祉会		
事業所名	グループホーム望海荘		
所在地	福岡県豊前市大字松江690番10 (電話) 0979-82-6090		
評価機関名	福岡県社会福祉協議会		
所在地	福岡県春日市原町3-1-7		
訪問調査日	平成18年5月15日	評価確定日	平成19年7月5日

【情報提供票より】 (平成19年4月1日記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15年 10月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	8 人
職員数	8 人	常勤 7人, 非常勤 1人, 常勤換算 7.5人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造高床式平屋 造り		
	2階建ての 2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000 円	その他の経費(月額)	12,000 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,200 円おやつ代含む			

(4) 利用者の概要 (平成19年4月1日現在)

利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1	3 名	要介護2	1 名
要介護3	4 名	要介護4	1 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85 歳	最低 82 歳	最高 90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	倉富医院・花岡医院・船津医院・川木戸歯科医院
---------	------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

小高い丘の上に立地した事業所からは、海と山が一望できる。敷地内には母体法人の軽費老人ホームとデイサービスを併設し、周囲では様々な果物や農作物、お茶等が栽培されている。居室は冷暖房やトイレ等の設備を完備し、利用者の馴染みの物を持ち込み、利用者が居心地よく過ごせるよう配慮している。法人代表者をはじめとして職員は、利用者の希望に沿った心安らぐケアを強く意識し、日々取り組んでいる。地域との交流は、利用者の趣味である木工、陶芸、カラオケ等を通じて、定期的にボランティアが訪れる等、活発に行っている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での改善課題への取り組みとして、利用者の希望にあわせた支援について等改善策を協議し、改善できる部分から少しずつ取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全職員で自己評価に対して検討会議を開催し、一つひとつの課題に取り組んでいる。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議では、事業所側が用意した議題のほかに委員からの質問要望なども取り上げられ、双方向の活発な議論がなされていることが議事録から確認できる。事業所の外部評価に対する改善点とその改善結果なども報告している。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8, 9)</p> <p>運営推進会議に家族代表が複数参加し、家族の意見、要望の提示を行っており、それを運営へ反映させている。また、意見箱も設置している。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>毎年開催の法人全体の文化祭では、地域にチラシを配ったり、市報に情報を載せる等して、多くの地域住民と交流している。他にも、寺院や教会、教育機関、利用者の趣味等を通じたボランティアの訪問等、交流がある。</p>

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
【I 理念に基づく運営】					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念だけでなく、事業所独自で地域密着型サービスの視点を含んだ理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝礼で理念の唱和を行い、毎日定例の反省会では、理念及び介護の具体的実践について話し合っている。また、職員採用時のオリエンテーションでは、理念についての説明が行われている。		
2. 地域との支え合い					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	毎年開催の法人全体の文化祭では、地域にチラシを配ったり、市報に情報を載せる等して、多くの地域住民と交流している。他にも、寺院や教会、教育機関、利用者の趣味等を通じたボランティアの訪問等、交流がある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員で自己評価及び外部評価に対して検討会議を開催し、一つひとつの課題に取り組んでいる。また、利用者の意見を聞きながら、全職員で改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、事業所側が用意した議題の他に委員からの質問要望なども取り上げ、双方向の活発な議論がなされていることが議事録から確認できる。事業所内の評価に対する改善点とその改善結果なども報告している。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政を始め、サービス提供事業者と地域ケア会議にて定期的に会合を持ち、事例検討や処遇について話し合い、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
7	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域権利擁護事業、成年後見制度についてのマニュアルは作成しているが、現時点では、学習会等は行われていない。職員間に理解度の差達が認められる。	○	特に成年後見制度についての研修を検討し、全職員が支援できる態勢を構築してほしい。
4. 理念を実践するための体制					
8	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	2ヶ月に1回便りを作成して、家族に近況を伝えている。また、毎月支払いのために来所する家族にアルバム等を見せて、事業所での利用者の様子を報告している。利用者個々の出納帳を作成し、毎月領収書原本を家族に渡し、写しを事業所側で保管している。また認印をもらうシステムを取っている。		
9	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会は設置していないが、家族の事業所への思いが強く、運営推進会議には家族の代表が複数参加している。積極的に家族間の意見を集約し代弁しており、家族会の代替としての機能を果たしている。また、意見箱を設置し、家族の意見・要望の収集に努めている。		
10	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人トップの方針として極力異動がないように留意し、離職に関してもその引継ぎを充分に行い、離職後も事業所を訪問するような関係を構築している。また、利用者は隣接の併設施設からの入居で、全職員と馴染みの関係を有しているのので、支援が受けやすい。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
5. 人材の育成と支援					
11	19	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の募集・採用にあたっては、性別や年齢等を理由に採用対象から排除することはない。職員の介護支援専門員資格と介護福祉士資格の取得には法人代表者が積極的であり、隣接の施設に勤務する有資格者からのアドバイスを受けることが出来る体制を取り、資格の取得を支援している。		
12	20	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	定期職員会議等で議題に挙げ、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。		
13	21	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修は適時行い、また、外部研修を受講した場合は、他の職員へ研修報告を行っている。		
14	22	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	月1回、管理者及び職員は、地区の他事業所と交流会議を行い、サービスの質を向上させるよう努めている。		
【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者は併設施設利用を経てからの入居であり、日頃から相互訪問をしながら、馴染みの関係を構築している。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	漬物の漬け方、掃除の仕方、洗濯物の干し方等で利用者が職員を指導する場面があり、利用者から学ぶ機会も多い。お互いに支え合う関係を築いている。		
【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の担当職員だけではなく、全職員で利用者全員の状況を見守り、観察し、情報交換して、希望や意向の把握に努めている。また家族から情報を得るようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	計画作成担当者が本人、家族の意向を聴取し、管理者、リーダー、介護職員（複数）を交えて各種データをもとに担当者会議を開催し、意見交換をしながら介護計画を作成している。		
19	39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎日の朝礼、ミニミーティング、反省会での職員間の検討を元に、3ヵ月ごとに見直しを行っている。状態変化が顕著な場合は、その都度現状に即した見直しを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	主治医の月2回の定期的往診、職員の通院付き添いによる日常の健康管理を行っている。家族や本人と協議の上、医療支援を行っている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医には、職員が付き添って対応している。主治医には、定期的に事業所を往診してもらっている。		
22	49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	方針については、事業所と本人、家族、かかりつけ医等との話し合いや連携を行い、全員で方針の共有している。		
【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員会議では、個人情報保護法について情報を共有している。また、プライバシー保護について、利用者への言葉かけや態度、外部に対しての対応方法等の内部研修を行っている。		
24	54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを把握しており、得意分野で存在感がある役割を利用者それぞれに持たせる支援ができています。それぞれが思い思いのことを行い、それを職員が見守る体制である。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員と一緒に食事を作り配膳、食後の片付けを協力して行っている。事業所内で利用者と職員が摘んだお茶の葉を天ぷらにして一品に加える等、食卓にも工夫と楽しみがみられる。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
26	59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の身体状況や希望にあわせて、入浴支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	木工、農作業(茶摘、果物、野菜)、掃除、洗濯、料理、カラオケ、陶芸、漬物、遠出等、利用者の生活歴や趣味等を活かした役割や楽しみごと、気晴らしの支援を行っている。		
28	63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の希望や声かけによる事業所周辺の日常的な散歩から、買い物、通院、冷泉への水汲み、季節ごとの花見等を行っている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関を始め、全ての扉は開放されている。外出しそうな利用者には職員が声をかけたり一緒に外に出て歩いたりして、本人の気持ちや安全面に配慮している。		
30	73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災、地震等の安全緊急救命マニュアルを作成して、年2回消防署の協力のもと、地域住民も参加して避難訓練を行っている。母体法人と協力して非常食を確保している。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士が献立を作り、食事の残量チェックを行っているが、水分量のチェックは行っていない。	○	水分量のチェックも行い、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援ができるよう把握に努めてほしい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	事業所全体が明るく開放的であり、ところどころに利用者が生けた草花が飾られ、また、季節を感じさせる掲示や置物があり、家庭的雰囲気に配慮している。		
33	85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、仏壇、写真、自宅で使っていたテレビや家具等を持ち込んでおり、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。		

※ は、重点項目。